

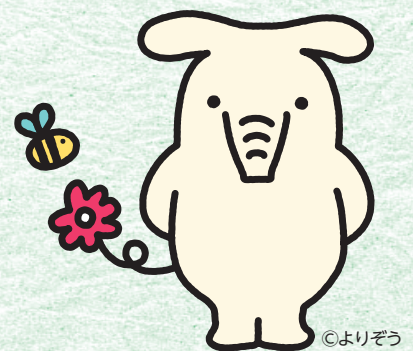
信頼のネットワーク、JAバンク

JA埼玉中央の現況

上半期 ディスクロージャー誌

2023

令和5年4月1日～令和5年9月30日



©よりぞう



JA埼玉中央

経営理念

「食」と「農」と「環境」を守り、地域の発展に貢献します。

- * 地域農業戦略に基づき、農業所得の向上に努めます。
- * 組合員・地域住民のくらしを守るため、総合力を発揮して各種事業活動を展開します。
- * 経営の健全性の確立のため、ＪＡ経営の変革に努めます。

1. 組合員と地域のみなさまとともに!!

ＪＡ埼玉中央は地域社会の一員として、地域のみなさまとともに歩んでいきます。

ＪＡ埼玉中央は、東松山市、比企郡、秩父郡東秩父村を区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

ＪＡ埼玉中央では、皆さまからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉として、資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにご利用いただいております。

また、組合員の皆さまへの奉仕はもとより、地域の皆さまに様々な事業機能やサービスを提供することにより、農業や地域経済社会の健全な発展に寄与することで社会的・公共的使命を果たしてまいります。

更に、地域社会の一員としての責任を自覚し、地域の各種行事や催事等への参画やＪＡの社会・文化的活動をとおして、少しでも地域社会の発展や活性化のお役に立ちたいと考えております。

ＪＡ埼玉中央は、今後とも協同組合運動の理念である「一人は万人のために、万人は一人のために」を念頭に置き、組合員の皆さまをはじめ地域社会の皆さまと一緒に歩んでまいります。

トピックス

■ジャパンSDGsアワード副本部長賞受賞

J A 埼玉中央をはじめとする関係6者は、第6回ジャパンSDGsアワード副本部長（内閣官房長官）賞受賞を受け、4月11日に東松山市総合会館にて受賞報告会を開催しました。食品ロス削減を目指し、直売所で売れ残った農産物を池袋駅で販売する「TABETEレスキュー直売所」を令和3年8月より運営してきたことが評価されました。



■バラの花を堪能！

いきいきデイサービスなごみは、5月18日～20日の3日間、利用者54名と川島町の「平成の森公園」を訪れました。コロナ禍で2年半外出を控えていましたが、利用者の希望に叶うよう、十分な感染対策を行ったうえで開催しました。参加した皆さんは、見事に咲き誇るバラを堪能しながら、楽しいひと時を過ごしました。



■田植えで食農教育 ～各地域でお米作り体験～

6月上旬から、米作りを通じて自然と触れ合い、農業に対する関心や食べ物大切さを学んでもらうため、親子や児童を対象に田植え体験が各地で行われました。地元農家やJ A 女性部、地元高校生らにも協力をいただき、田植え指導などを行いました。児童のほとんどは、初めての田んぼで泥の感触に大きな声を上げながらも、慣れてくると上手に苗を植えていました。



■J A 埼玉中央女性部フードバンク活動

当J A 女性部は、家庭で眠っている食品を持ち寄り寄って寄付するフードバンクシステムを通じて「食料を無駄にせず、分かち合い、助け合う」を基本とした社会福祉活動を行っています。527名の全部員に声掛けした結果、186キロを超える食品が集まり、中央会を通じて特定NPO法人フードバンク埼玉に寄贈されました。



■最新農機ずらり 農機展示会

J A 埼玉中央は7月22日、中部営農経済センター敷地内で農機展示会を行いました。梅雨明けの暑さに関わらず、276名が来場し最新農機に見入っていました。最新農機のほか、農機用ドローンをはじめとした省電力化関連機械など、さまざまな農業機械や農業資材などが出展されました。



2.安心のバロメーター

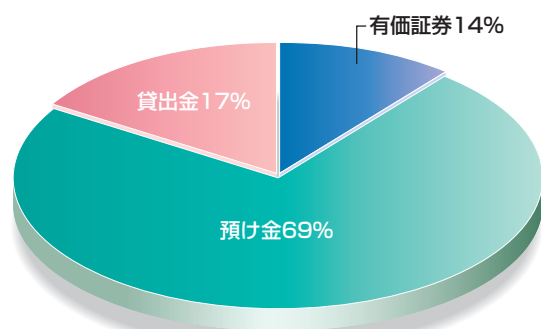
安心 その1

ＪＡ埼玉中央は、地域の多くのみなさまより信頼をいただき、貯金は2,974億円です。この大切な財産を、安全性と流動性を重視して資金運用しております。

R5.9月期のＪＡ埼玉中央の運用資産構成

(単位：百万円)

	R4. 9月期	R5. 3月期	R5. 9月期
貯 金	295,830	296,655	297,428
貸 出 金	45,034	46,664	48,722
預 け 金	208,666	205,954	205,422
有価証券	41,308	41,892	40,980



1 売買目的有価証券

当ＪＡは、令和5年3月期及び令和5年9月期における売買目的有価証券の残高はありません。

2 満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：百万円)

	令和5年3月期			令和5年9月期		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	4,721	4,887	165	4,120	4,233	112
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	15,318	14,245	△ 1,072	16,099	14,408	△ 1,690
合 計	20,040	19,133	△ 906	20,221	18,641	△ 1,579

注1. 時価は、9月末、期末における市場価格等に基づいております。

3 その他有価証券

(単位：百万円)

	令和5年3月期			令和5年9月期		
	貸借対照表計上額	取得原価または償却原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価または償却原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価または償却原価を超えるもの	2,918	2,830	88	2,064	2,022	42
貸借対照表計上額が取得原価または償却原価を超えないもの	18,933	20,501	△ 1,568	18,696	21,298	△ 2,601
合 計	21,851	23,331	△ 1,479	20,760	23,319	△ 2,559

注1. 貸借対照表計上額は、9月末、期末における市場価格等に基づいております。

4 金銭の信託

当ＪＡは、運用目的・満期保有目的・その他の金銭の信託にかかる契約はありません。

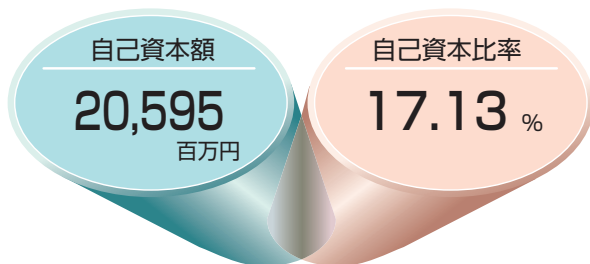
安心 その2

金融機関の経営健全性を示すバロメーター … 自己資本比率も充分です。

JA埼玉中央は、国内基準（4％）の4倍以上で、国際基準（8％）を上回る17.13％の自己資本比率と、128億円の内部留保（特別積立金）で、安定した経営を維持しています。

（単位：百万円、％）

R5. 9月期の自己資本の状況



	R5. 3月期	R5. 9月期
自己資本額	20,497	20,595
自己資本比率	17.23%	17.13%
余 裕 額	10,980	10,978

R5.9月期の計数は、仮決算結果に基づき、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(H18.3.28 金融庁・農林水産省告示第2号)に準拠して算出していますが、半期利益については、前年度実績の2分の1の外部流出予定額を控除して自己資本の額とし、オペレーショナルリスク相当額はR5.3月期の係数を用いて算出しています。
余裕額は自己資本額の内、国際基準（8％）を上回る部分の金額となります。

安心 その3

不良債権に対する備えも充分です。

JA埼玉中央は、適切な資産査定を行い、不良債権に対する保全をしています。経営の透明性を高め、その健全性と安全性をご理解いただくために、金融再生法に基づく開示債権の状況を開示するとともに、不良債権に対する保全状況を開示いたします。

（単位：百万円、％）

債 権 区 分 と 保 全 状 況		R5. 3月期	R5. 9月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		505	499
危 険 債 権		308	344
要 管 理 債 権		0	0
	三月以上延滞債権	0	0
	貸出条件緩和債権	0	0
小 計 (A)		813	843
保 全 状 況	上記債権の担保・保証の額 (B)	554	586
	上記債権に対する貸倒引当金の額 (C)	247	235
	上記債権に対する保全率 (B+C) / (A)	98.49%	97.42%
正 常 債 権		46,635	48,866
合 計		47,448	49,709

注）R5.9月期の計数は、9月末の仮決算において3月期決算と同一に当JAの資産査定要領により実施した自己査定結果、並びに資産の償却・引当基準に基づき計上したものです。（金額は貸付留保金を控除していません）

【用語の説明】

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権…破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。
- 危険債権…債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。
- 要管理債権…「三月以上延滞債権」と「貸出条件緩和債権」の合計額をいいます。
- 三月以上延滞債権…元本又は利息の支払いが約定支払い日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。
- 貸出条件緩和債権…債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。
- 正常債権…債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

JA埼玉中央は、組合員の皆さまや地域のお客さまの着実な資産づくりのお手伝いをさせて頂いています。

組合員の皆さま・地域のお客さま

うち組合員数 28,532人

※JAにおける「組合員」とは？

地区内にお住まいや勤務の方は組合員になる資格があります。また、組合員以外のお客さまも一定の範囲内でJAのサービスをご利用頂けますので、お気軽にお声掛けください。

地域からの資金調達の状況

当JAでは、お客さまのニーズにお応えするため、公的年金および退職金のお受取りの方を対象とした優遇金利定期貯金など特徴ある商品をご用意していますが、今後も新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

貯金・積金残高

297,428百万円

出 資 金	2,282百万円
貯金・積金	297,428百万円

JA埼玉中央

常勤役員	6名
職員	402名
店舗数	13店
ATM設置台数	31台
営農経済センター	3店舗
ガソリンスタンド	7店舗
(すべてセルフSS)	
直売所	9店舗 等

地域への資金供給の状況 (貸出金に関する事項)

お客さまからお預かりした大切な貯金・積金を、資金を必要とされている組合員、地域にお住まいの方や事業者の方々へ資金を適正に供給し、農業や地域経済の活性化に寄与しています。

貸出金残高

48,722百万円

組 合 員	42,329百万円
地公体等	4,585百万円
そ の 他	1,807百万円

*制度融資の実績

農業近代化資金 60百万円

*農業支援融資商品

営農ローン/
JA農機ハウスローン etc.

*個人向けローン、事業者向け融資
についても各種ご用意しています。

文化的・社会的貢献に関する事項 (地域との繋がり)

(1)「地域との共生」を基本理念に「小さな活動から」を合言葉に、福祉、スポーツや地域活動等の活動を通じて文化的、社会的貢献活動を展開しています。

(2) 利用者ネットワークとして、各種友の会や部会を設置し、さまざまな活動を展開しています。

(3) のうきょうだより等の広報誌やホームページを通じて情報提供やご意見を承っていますのでご利用ください。

[JA埼玉中央ホームページ]

<https://www.ja-sc.or.jp>

貸
出
金

支
援
サ
ー
ビ
ス

営
農
支
援

貸出金以外の運用に関する事項

安全性と流動性を重視した安定収益のため、JA県信連預金や国債等の有価証券で運用しています。

JA県信連等預金残高	205,422百万円
有価証券残高	40,980百万円

組合員の皆さま・地域のお客さま

※計数は、令和5年9月末現在です。なお、記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

※記載内容、商品についてご質問等がございましたら、お気軽にお声掛けください。

JAバンクは、「破綻未然防止システム」と「貯金保険制度」により「JAバンク・セーフティーネット」を構築し、組合員・利用者みなさまに、より一層の「安心」をお届けしています。

JAバンク・セーフティーネット

破綻未然 防止システム

破綻未然防止のための
JAバンク独自の制度



貯金保険制度

貯金者の保護のための
公的な制度

身近で便利 JA金融店舗

東松山北支店	TEL 0493-22-4036
高坂支店	TEL 0493-34-3121
東松山南支店	TEL 0493-22-1733
滑川支店	TEL 0493-56-2255
嵐山支店	TEL 0493-62-2012
小川支店	TEL 0493-72-1100
竹沢支店	TEL 0493-73-1872
八和田支店	TEL 0493-72-0558
ときがわ支店	TEL 0493-65-1116
鳩山支店	TEL 049-296-1255
川島支店	TEL 049-297-1822
新吉見支店	TEL 0493-54-1531
東秩父支店	TEL 0493-82-1241

※高坂支店は令和6年2月19日に『東松山南支店』と統合する予定です。統合後の連絡先は現在の東松山南支店の電話番号となります。

※東秩父支店は令和6年2月26日より新店舗での営業となります。

※小川支店、竹沢支店、八和田支店は令和6年3月25日に『小川支店』として統合する予定です。統合後の連絡先は、現在の小川支店の電話番号となります。



組合員・利用者の皆さまに、より一層の「便利」と「安心」をお届けするための農協金融システムが「JAバンクシステム」です。このシステムに一体的に取り組むJAバンク（JA・信連・農林中金）の金融店舗には、「JAバンク会員マーク」が掲示されております。

2023 上半期ディスクロージャー誌 令和5年11月製作
JA埼玉中央（埼玉中央農業協同組合）総務部
〒355-0011 東松山市加美町1番20号
TEL 0493-22-3321（代表）
【JAホームページ】<https://www.ja-sc.or.jp>



「ロゴマークの説明」

外側の3本線は、JA埼玉中央の経営理念「食」「農」「環境」を表すと同時に、3つの地域（平坦、丘陵、山添）をイメージしています。中央の大きな四角は田畑をイメージし、9分割されているのは管内の9市町村を表しています。ロゴマークの色は、比企地域の壮大な自然を表現し、鮮やかな緑色となっています。管内の市町村や農地をJAが支えるという意図も含まれています。